

 株式会社 日本ピーエス

本社・敦賀工場 / 〒914-0027 福井県敦賀市若泉町3番地

TEL / 0770-22-6300

HP / <https://nipponps.co.jp/recruitment/>



人と未来に架け橋を

BRIDGE FOR THE FUTURE



NIPPON PS RECRUITMENT

株式会社 日本ピーエス リクルート案内

日本ピーエスは日本をつなぐ 「橋梁のトータルプロデュース企業」

日本ピーエスは1952年の創業以来、日本のプレストレスト・コンクリート(PC)技術の先駆者として、16,000を超える橋を架けてきました。

現在、新たな橋梁の建設はもちろん、全国の高速道路をはじめ古くなった橋梁のリニューアル工事に応えるため、2022年には最先端の生産工場が始動。

国土強靱化やインフラ長寿命化という社会のニーズに、日本ピーエスは「つくる」「まもる」「つなぐ」技術をさらに磨き上げ、インフラ整備に取り組んでいます。

新工場



日本ピーエス 新工場 / 福井県敦賀市

新幹線



北陸新幹線 高柳高架橋 / 福井県福井市

復興支援



国道45号 水尻橋 / 宮城県本吉郡南三陸町

高速道路



新東名高速道路 海老名南JCT / 神奈川県海老名市

長大橋



国道266号 天城橋 / 熊本県上天草市~宇城市

市街地



都市計画道路園田西武庫線(藻川工区)右岸アプローチ橋 / 兵庫県尼崎市

日本ピーエスは将来構想に「橋梁のトータルプロデュース企業」を掲げ、持続可能な社会のため、橋梁のライフサイクル事業に注力しています。

既存技術のレベルアップと新技術へのチャレンジ精神で日本ピーエス独自の付加価値を高め、社会に貢献し、会社のビジョンである「会社の持続的成長」と「社員の幸せ」を実現します。

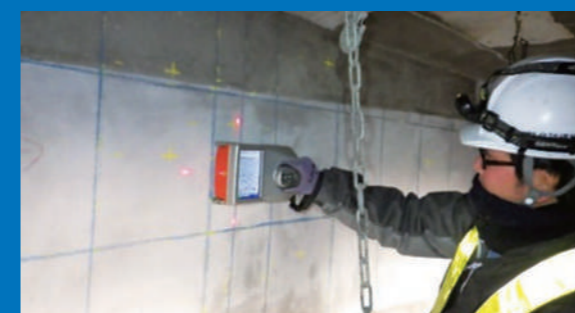
日本ピーエスは橋梁のライフサイクル事業に注力し、持続可能な社会に貢献します。



新設工事



メンテナンス・補強工事



調査業務



リニューアル工事



「理屈を理解しながら覚えていけ」

口癖でもあり、自分に言い聞かせている言葉。ひとつひとつの作業を理論に基づいて理解していくことで二度と忘れない。新人の頃は、がんばるだけで仕事をこなしていた自分への戒めでもある。社内外の仲間と、先輩後輩にも感謝を忘れない社員が語る。

学べば学ぶほど、すごいと思えることがある。

日本ピーエスを知ったのは大学の紹介です。調べてみたら、工場で作った桁を架設し、施工管理までする会社だということを知り興味を持ちました。もともと、橋梁、コンクリートに興味があったので紹介をいただけたのだと思います。学生の頃は、巨大な橋梁など、こんなに大きいものがどうやってできるんだろうと思っていましたね。あの長さで、あの強度を保つプレストレスト・コンクリート(PC)については、入社してから益々そのすごさに驚きました。

自分の全力に気づかせてくれる、そんな会社。

入社して4ヶ月目の現場ではついていくのがやっとでした。右も左もわからないままの現場で上司や先輩の指導を受けながらの毎日。その後工期が延長になり、人員の調整がはじまりました。役に立たない自分は帰されるんだろうなと思ってたところ、「残ってくれ。」と言われたんです。頼りにしているぞと言われたようでした。うれしかったですね。

あれから6年が経ち、昨年から現場を任せられるようになったのですが、やはり先輩、上司、まわりの方々のお世話になっています。いまだに現場では感謝しかありません。

会社として、人を育てようという意識があるということはすごく感じています。

これからも、誰かのために橋をつくり続けていきたい。

会社には様々なプロジェクトが用意されているのですが、まだまだ橋梁に関わっていきたい。未来へと残るものを作った、できたという達成感が好きなんです。現場に関わったすべての方々と作りあげた橋です。現場にいと、地域の方とのふれあひも

あるんです。「楽しみにしてるから、がんばって作ってね」などと声をかけられると、きっとこの橋を使われるんだろうなと思ひ、励みになります。

人と人の架け橋になるために。

こうして仕事に集中できるのも、会社のバックアップがあるからだと思ひます。いつも社員のことを考えてくれている。研修制度や資格取得制度が充実していることなどもそうですね。他社と比べても、自慢できることでしょうか。会社に対しては、今までの経験や成長をどう生かせるかという気持ちになります。会社にも、新人の頃お世話になった上司にも、その恩に応えたいと…。そんな気持ちで、今は後輩の育成のことを考えています。

橋は生きがい。未来に残る仕事です。

モノづくりの好きな人にはいい会社です。ミリ単位の正確さが必要な仕事ですが、橋梁やコンクリートを学んでいなかった方でも研修や教育をしっかり受ければ現場でも活躍できるはず。みんないろんな分野からやってきて、一からのスタートを切っています。つくることに興味さえあればやっていけます。

私にとっての「橋」は、知らない人との「架け橋」ですね。こうやって橋に関わっているおかげで、これからの新しい人たちにも会えるわけですから。



心と心をつなげる、架け橋になる。

INTERVIEW

佐倉 由起

2016年入社 技術職(施工管理)

🕒 1日のスケジュール

- 7:30 ● 出勤
- 7:50 ● ラジオ体操
- 8:00 ● 朝礼・危険予知活動
- 8:30 ● 現場場内安全巡視
- 9:00 ● 測量・量出
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 翌日作業の打合せ
- 13:30 ● 出来形管理
図面通りに施工されているか確認を行う作業です。
- 16:00 ● 現場場内片付け
- 17:00 ● 現場作業終了
- 17:10 ● 翌日作業の資料作成
- 18:00 ● 帰宅

POINT!

現場近くにアパートを借りています。家賃と光熱費は会社が負担してくれます。



大きな橋も、
使う人の顔が見える橋も、
同じ気持ちで
取り組みたい。



吉野 百香

2020年入社 技術職(施工管理)



CROSS TALK



上司 渡邊 輝政

1993年入社 技術職(施工管理)

東日本大震災のニュース映像を見て、こんなとき人の役に立つ仕事って何だろうと思った。そんな気持ちを胸に入社した日本ピーエス。現場業務に携わって1年後に配属された高速道路リニューアル工事がようやく終わろうとしている。工事完了間近になって思うこととは。上司との対談を通して聞いてみる。

自分のキャリアがようやく始まったという感覚です。

吉野：今回は初めての現場で、準備から完成まで体験できたことは大きいです。ここでの経験は自信につながりますが、次の工事でどれだけ役に立つのか、ちょっと不安もあります。

渡邊：不安な気持ちもわかります。管理手法も現場によって違いますし、やり方も違うので経験していかないと身につけません。その時その時でがんばっていくしかないですね。

新人には心細いでしょうが、同じ顔触れが現場で出会うということもまずありません。当社の工事は全国に展開しているので、どんな現場でどの上司と出会うかということで経験や学びも変わってきます。

吉野：この現場では、いい仕事といい上司に出会えたと思っていますよ(笑)。

こちらの現場では、この現場ならではの経験が積めたのだと思います。いい経験になりました。

日本ピーエスは「できる仕事は任せる」という社風なんです。これはできるはずだから「やってみろ」という。任された以上は、自分で考えながら動くしかない、がんばるしかない。

目の前でできていく仕事、それが人の役に立っていることの実感

渡邊：近所のおばあちゃんと仲良くなってなかった？

吉野：近くを通るおばあちゃんと挨拶をするようになって。先日お会いした時には「工事終わるんだね、静かになるね、寂しくなるね、元気だね」と言っていました。現場から離れてほっとする半面、さびしいですね。この後ちょっとでも記憶に残ってくれたらう

れしい。大きな橋にも関わりたいのですが、使う人の顔が見える場所での仕事も続けていきたいですね。

渡邊：住宅地に近い場所というのは配慮することも多く大変なのですが、こういった出会いがあるのはいいことですね。直接感謝されるのは、技術者としての大きなよこびです。

吉野さんは仕事で、女性だからということを意識したことはある？
吉野：筋力的には男性にはかなわなかったり、女性ならではの体調だったりご迷惑をかけることもあります。だけど、体力的に劣る時はお願いし、助けていただき、道具や方法を工夫すれば大丈夫でした。それに、現場では女性だからといって区別されたくはありません。むしろ私はそういう環境が気に入ってます。

不安を楽しみに変える、この仕事の不思議な魅力。

吉野：ひと言で「橋」といっても、その中には様々な機能をもった部材が組み合わさっています。その過程を見るのが好きで、楽しいんです。しかも設置するたびに条件が違うので飽きないですね。現場に出るまではわからなくて不安だったことが、わかっていくこ

とで「不安」が「楽しみ」に変化していく。そんな魅力のある仕事です。もし就活中の女の子に伝えるなら、もの作りが好きで、女性だということにとらわれたいなら日本ピーエスに来てほしいと言いたい。

渡邊：初めて本格的に関わった現場でよくやってくれました。でも、まだまだこれからです。吉野さんはもっともっと成長できるはずです。これから先はお互い別々の現場でしょうが、何かあったら何でも頼ってください。

吉野：ありがとうございます。





育児休暇制度



社員一人ひとりがいきいきと働ける環境づくり。「社員の幸せ」を目指す日本ピーエスは福利厚生制度の充実・改善に力を注いでいます。なかでも、女性社員の育児休業取得率は100%。男性社員の育児休暇率も年々増加。橋梁づくりに携わる建設業界で、男性社員にとっての育児休暇とはどういったものなのか。

上司や仲間の強い勧めがあり、安心して育休が取れました。

若島 弘昂 2017年入社
技術職(施工管理)

みんなで協力し合える。そういう会社です。

建設業というシビアな世界ではありますが、人間関係がすごく良好です。プライベートでも、年齢に関係なくみんな仲がいいですね。そして思いやりが深い。新人の頃、こんなことがありました。私のミスで、工事が止まりそうになった時に、社内の方、取引業者の方々が一丸となって助けてくれました。仲間のためなら、ひとつになって協力する。そんな人たちがいる環境なんです。

今回、上司に育児休暇のことを相談した時も、社内で育児休暇を取得する男性社員が増えていることもあり、すぐに理解が得られ、応援してくれました。

家族と過ごす時間が増え、次の橋づくりへのパワーになった。

奥さんにはすごく喜ばれています。3人目ということもあり、長男次男の保育園の送迎もあり、奥さんの支えにもなりました。育児休暇は状況に応じて12ヶ月まで申請できます。その間の給与も保証されていますし、安心して育児を手伝えます。子どもと一緒の時間が今はいちばん幸せです。育休が明けたら現場代理人として新たな橋づくりが予定しており、会社からも必要とされる人材としてさらなるやる気に繋がりました。

未来に残る建造物、新しいことに挑戦したい人は、ぜひ。

橋梁や道路づくりを基本に、日本ピーエスは新たな事業展開をしていきます。私たちの仕事は、大きなカタチとして未来に残っていきます。普段は何気なく使っている建造物は、たくさんの技術と時間と、人の想いで造られています。また、自分がつくった橋を奥さんと子供達と渡るときの達成感は大きく、誰かの役に立っていると思うと、こんなにやりがいのある仕事はありません。

橋を使う人の幸せを考える会社、橋をつくる社員の幸せを願う会社。それが日本ピーエスです。自分の手で未来をつくりたい人には、とてもいい会社ではないでしょうか。



メンター制度



身近な橋から、巨大な橋まで。全国で16,000を超える橋梁づくりに携わる日本ピーエスの社員たち。社員定着率96%（過去10年）という数字からも理解できる「社員を大切にする会社」という印象について、メンター、メンティを超えた関係のふたりが語ります。この制度は入社2年目まで実施されます。

私が私らしくあるために、先輩にいただいた言葉はずっと忘れない。

阪田 遥

2022年入社
技術職(当時:研修生)

田中 弓枝

2000年入社
技術職(設計)

阪田：入社の一きっかけは大学での企業説明会でした。子どもの頃からものづくりが大好きで、いつかは建築・土木系の仕事がしたいと思っていました。大学では構造力学のような科目が好きで、説明会に伺った時、日本ピーエスのブースが目に入ったんです。田中さんとはそこから仲良くしていただいています。

田中：内定式後から入社後2年間メンター制度が実施されます。特に女性の場合、勤務地、現場での仕事、結婚、出産など特有の壁というものがある。そういうことをあらかじめ伝えておくことで、早めに不安を払拭しておけるというメリットがあります。

阪田：私の場合は、新生活への心細さというよりも業務上での不安が大きかった。設計希望で、現場では気づけないような細部の問題

を解決したいと思っているのですが、今の自分にそんなに大事な仕事をこなしていけるのかと。

田中：私も入社したての頃は、同じような悩みを抱えてきました。そんな気持ちがわかるからこそ、どんなことでもいいから言ってほしいんです。先輩として知識や経験を次の世代に伝えることも大事な仕事なので。

阪田：業務上のことも女性としてのことも、なんでも気軽に話せます。お昼休みの時にごはんを食べながらとか。たまには外に食事にも行きますよ。メンター制度には食事補助というものがあるので新人には助かります。

田中：とにかく聞かせて、ということですね。人それぞれ悩みはあるでしょうが、せっかく土木や建築系の勉強してきたのに心配事や不安のせいで仕事をあきらめて欲しくないんです。歳の近い仲間との集まりや、コミュニケーションの場も減ってきていますから、話を聞いてあげるといふ会社側の姿勢も大事でしょうね。

阪田：やはり相談できる人がいるということは大きな安心です。この先は現場も経験していきますが、不安は今のうちに田中さんにぶつけて精一杯これからの仕事を楽しみたいと思っています。

ライフサポート

職場の環境整備だけでなく、ワークライフバランスのとりやすい環境づくりにも積極的に取り組んでいます。

●育児・介護休業給付補助金

社内には、社員の扶助並びに福利増進を目的とした共栄会という会があります。社員が病気やケガで休んだり、育児休業したときに、雇用保険からの給付金に加え、共栄会からの給付があることで、休業中も基本給とほぼ同水準の給与となります。

社内風土に加え、安心できる共栄会があるため、育児休暇などの取得率が高まっています。

●奨学金支援制度

がんばる若者を応援する制度です。返還義務のある奨学金を補助することで、少しでも若手社員の経済的・心理的な負担を減らそうという目的で導入しました。

当社に入社後50ヶ月間、上限2万円/月、総額最大で100万円を補助します。審査時には小論文を提出していただきますが、2019年の開始以来、2024年の現在まで審査通過率は100%。やる気があれば、皆さんが安心して利用できる制度です。

男性社員の育児休暇
平均取得日数(1人あたり)
(2020~2024年)

79日

奨学金支援制度利用申請
通過率(2021~2024年度述べ19人)

100%



●住宅支援・勤務地手当

会社の指示で現場に単身赴任した場合は、会社が全額負担します。社員の意思で家族を連れていく選択ももちろんできます。その場合、家賃は会社が7割、個人が3割負担となり、敷金・礼金は全額会社が負担します。子供が小さい頃は家族を連れて、学校へ通い出したら単身赴任に変更するなど、ライフプランに合わせた選択ができます。また、勤務地に応じて勤務地手当(最大20,000円/月)を支給しています。

●充実した教育体制・資格取得支援

新入社員研修は原則、1年間です。マナー研修などの一般研修からはじまり、技術職には施工・現場・設計・メンテナンス・積算と通りの技術的な基礎研修を実施し、その後、実務型のOJT教育に入ります。2年目以降も、若手技術者教育、全社員研修などを通じ、私たち人財開発グループメンバーが皆さんの成長を積極的にサポートします。

その他、資格取得のための通信教育、資格取得報奨金制度、自主的な学び直しやリスキリングを支援する「オフタイム支援制度」など、様々な制度があり、皆さんのキャリアプランを支援しています。



人財開発グループのメンバー

基本情報

社員の
定着率

96%

※2013～2023 年度実績 (年度毎の平均値)

入社後3年以内における
新入社員の定着率

87.2%

※2013～2023 年度入社社員の実績 (入社年毎の平均)

平均年齢
※2024/4/1時点

43歳



平均勤続年数
※2024/4/1時点

18.1年



社員平均年収

600万円



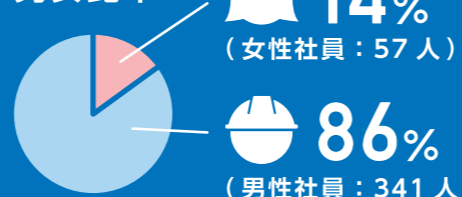
※2023 年度実績

社員数 ※2024/4/1時点

398人



男女比率



14%
(女性社員: 57人)

86%
(男性社員: 341人)

ワークライフバランス



年間
休日

122日

※2024 年度

有給休暇取得率
全産業平均 62.1% (2023 年度)

84.3%

※2023 年度実績



有給休暇
平均取得日数

13.9日

※2023 年度実績



月間残業時間
(全社員平均)

19.3時間

※2023 年度

業績

2023 年度PC工事
売上高ランキング

第6位

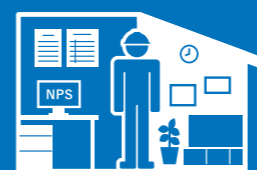
プレストレスト・コンクリート(PC) 工事に関わる全国での売上高ランキングです。

日本ピーエスは、社員1人ひとりが主役になれるちょうど良い規模の会社。この数字は、大手企業では感じにくい社員の主体的な活躍が生み出した結果だといえます。

※日経コンストラクション(2024年9月号)より

エンゲージメント

従業員の会社や職場に対する「愛着」「思い入れ」といった従業員と会社の「絆」を示す指標。
※弊社と同業界・同規模(建設・不動産/201~500名規模)の企業と比較し、高かった項目「ベスト3」



1位

ワークライフバランス

仕事と私生活の両立がしやすいと感じている



2位

給与への納得感

働きに見合った給与・賞与が支払われていると感じている



3位

ストレスフリー

頭が重い、イライラする等のストレス反応を感じにくい

未来構想

2050年
温室効果ガス
総排出量の

実質0

を目指しています!

蓄電池の利用や太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用、営業・工事車両のEV化に取り組み脱炭素を目指しています!
※2023 年度実績・工場での再エネ率 42.7%

2052年に向けて、

100年

企業を目指しています!

日本ピーエスでは、社員が幸せを感じながら働いてもらうことが必要だと考え、中期計画では「人への投資」「人の成長」をテーマに真に「働きがいのある会社」を目指してきました。

これからは、既存事業である橋梁のライフサイクル事業の強化に加え、持続可能な社会への貢献を掲げ、社会に必要な企業としてさらに進化していきます。

私たちの未来計画は、皆さんの力で躍動します。一緒に未来構想を実現しましょう!